

第21回	フリーアクセスフロアを学ぶ		平成21年 4月 27日 (月)	
	進行役	木原 陽(株日本設計)	特別講師	日立機材(株)

質問に対する講師の回答及び補足説明

番号	質問事項	回答及び補足事項
1	ウイスカ対策が問題になって久しいですが、どんな対策をされているのか、積算するに当たり注意点はありますか。	各社、色々な対策方法があります。塗装、Niメッキ、ウイスカ対策亜鉛メッキ等。
2	フリーアクセスフロアには、様々な材種のものがありますが使い分けをする要素はなんですか。	材質により特徴が異なります。
3	フリーアクセスフロアはかなり高額ですが、メーカーサイドからの積算注意点を教えてください。	用途・仕様を詳しく開示頂ければVE案も提案できると考えます。
4	フリーアクセスフロアとOAフロアの違いに何か定義はあるのですか。	二重床の総称をフリーアクセスフロアといいますが、大きく分けて事務用途(OAフロアでH=150mm以下が多い)、電算機室用途(H=300mm以上が多い)、クリーンルーム用途などがあります。一般的にはフリーアクセスフロアというと電算機室用途のものを言うことが多いです。
5	耐荷重等によって違うのですが、一般的にOAフロアの耐用年数はどの程度が目安なのでしょうか。材種毎に教えてください。	材質により耐用年数が異なることはありません。むしろ使用状況やメンテナンス状況により大きく異なります。
6	ここ数年、ウイスカが問題となっており、御社でも対策品を出されていると思いますが、一般品との出荷比率はどの程度になっているのでしょうか。近年増加傾向にありますか。	ウイスカ対策は電算室用途になると思いますが、その中で半分以上が対策品として出荷しています。リスク回避ということで増加しているようです。
7	半導体工場などのクリーンルームで使用されるグレーチングはウイスカ対策は必要ないのでしょうか。数年前に経験した現場ではウイスカ対策等のことばは一切耳にしなかったのですが・・・	電算室と異なりクリーンルームはダウンフローであり高精度のフィルターを備えているため問題となるケースが無いのではと考えます。
8	ウイスカの質問ばかりで恐縮ですが、ウイスカによるトラブルは個人的にはどうも二重床がひとり悪者になっているように思うのですが、御社でも二重床が一番の原因だとお考えですか。他の製品の方が可能性が高いとお考えですか。またその場合、どのような製品の可能性が高いとお考えですか。	ウイスカ発生と飛散の可能性の原因としては二重床の可能性が高いと思います。但し、電算機トラブルの原因がウイスカによるものとの確率はそれほど高くないと考えます。というのもウイスカによる被害と考えられたケースは、表面が電気亜鉛メッキされたパネルからウイスカが発生し、そのパネルをメンテナンスしたため大量のウイスカが飛散したと考えています。
9	クリーンルームの床に使われる日立クリーンフロアG600などの特殊なクリーンフロアはとても高額です。同等の性能を持つ安価な商品は、ありませんでしょうか。	クリーンルームの床には特殊な仕様(高荷重・現場加工性・現場での取り扱い易さ・発塵し易い表面仕上げ等)を要求され、それを満足する素材としてアルミ以外の安価な素材が無いのが実情です。
10	アジャスター用の脚の無い、直置き式のOAフロアで床の不陸が原因で工事のやり直しの事例は、あるのですか？見積の予算として床の不陸調整用モルタルを見込むべきか、悩むことがあります。	がたつき多く再施工の事例はございます。調整のモルタル補修はできれば見込んで頂きたいと考えます。
11	OAフロアはメーカーさんも種類も非常に多いのですが、それぞれに評価した一覧表がありましたら、ご提示ください。コスト・使い勝手・出荷量等の視点からお願いします。(日立さんのPRでもOK)	当社の比較表を参照ください。

番号	質問事項	回答及び補足事項
12	OAフロアの仕様としてコンセントの数を表記する必要はないのでしょうか。(標準の数が含まれているとしても) また必要な数を質疑で確認するべきでしょうか。ご教示ください。	コンセントの数は必要数+将来対応数などを表記していただくと設備パネルの数を限定できますので確認下さい。
13	廊下を通り抜けて、OA床下へ、配線する場合もあると思いますが、廊下の壁が耐火間仕切の場合の下部の耐火処理方法をご教示ください。又積算の必要はありますか。	耐火間仕切りの開口等は経験ありません。
14	フリーアクセスフロアの表面仕上材(タイルカーペット等)について、物件により別計上とする場合と、共とする場合が有ります。物件によっては、具体的なメーカー名/品名程度が指示される場合も有り、見積を作成して頂く上で、表面仕上材は別途又は共のどちらの形式を採用する方が宜しいのでしょうか。	通常は別途で見積り計上しております。
15	工法・規格による部分も有ると思われませんが、一般的な考え方として、対応が可能な最低高さはいくつまでなのでしょう。	置敷タイプでは30mm程度から製品はありますが通線を考えると、一般的には40mm以上と考えます。 パネルタイプでは調整することを考えると60mm以上必要です。
16	高さ・許容荷重により単価差が発生すると思われませんが、単価差と床高さ及び荷重との関係はどのような関係になっているのでしょうか。	要求耐震強度により脚の仕様が異なる場合があります、床高さに対する単価が一定ではありませんので都度御相談ください。
17	図面により、OAフロアと表現される場合と、フリーアクセスフロアと表現される場合がございますが、この名称の違いで、何か違いが発生するのでしょうか。	表現方法は違いますが、事務用途と電算機室用途により使用するパネルは異なってきます。
18	免震機能付フリーアクセスフロアの内訳書作成について、どのような計上方法が最適ですか。	免震は各社の工法により内訳が異なりますので別途ご相談ください。
19	フリーアクセスフロアの下地はどのような仕上げが必要ですか。	金ごて仕上げ程度の仕上げでレベル調整タイプは±10mm以下、置敷タイプの場合は1mm以上の段差無いこと。
20	際根太は必ず必要ですか。	弊社の壁際用脚での支持が現場によっては不可能で、別途際用の金物工事が必要な場合がございます。
21	フリーアクセスフロアの表面仕上げで施工出来ない仕上げはありますか。	OA用フロアはタイルカーペット又は置敷タイルの現場貼りを前提にしており、t2mmのタイル等を現場貼りすることが困難です。
22	フリーアクセスフロアとOAフロアの違いは何ですか。	現在は明確な区別がつきにくくなっております。
23	ウイスカ対策の記載をよく見かけますが、具体的にはどのような効果、および処理がなされているのでしょうか。また、ウイスカ対策が必要かどうかの判断基準と価格の違いをご教授下さい。	価格は脚の仕様により異なりますので別途御相談ください。
24	内訳書に規格を記載する際、通常特記仕様等にある仕様は記載いたしますが、何も記載がない場合、どのような点を質疑で確認するのが、見積上都合が宜しいのでしょうか。	仕上げ高さ、強度など詳細仕様を確認ください。

番号	質問事項	回答及び補足事項
25	フリーアクセスフロアとOAフロアとは同義語との認識でしたが、時おり、特記仕様書に両方ともが並んで記載があり、別物のように表記されていることがあります。明確な区別があれば、ご教授下さい。	パソコンの普及に伴う大型電算室の減少、表面仕上材(置敷タイル・タイルカーペット)とOAフロアの電算室への採用増加により、明確な区別がなくなってきているのが現状です。
26	配線用取り出しパネルの箇所数において、何か基準がありましたらご教授下さい。	一般的にm2に一枚(一箇所以上)あれば問題無いと考えます。
27	室内がOAフロアで、入り口が階段またはスロープの場合、計上方法は箇所計上で宜しいでしょうか。また、実際は木下地等を組むかと思われませんが、内装に計上して宜しいでしょうか。	箇所の場合は奥行き・巾を明記お願いします。木の他にアルミ・鋼製の場合がございます。
28	上記のスロープや階段の内訳上の名称は、どのように表現するのが、見積上は都合が宜しいでしょうか。	。スロープ、框、ステップと記載されております
29	時おり、表面仕上にフローリングとある場合がありますが、納まりとしては、捨貼合板等を計上したほうが宜しいでしょうか。もしくはフリーフロアに読み替えてしまったほうが宜しいでしょうか。	OAフロア上に捨貼合板して施工する事例もございますが、通常は防音・居住性から鋼製二重床を推奨します。